



2023年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ ホスピタリティー グループ  
代表者名 代表取締役社長 クォック・ゲイリー・ヤン・クエン  
(コード：9704、東証 スタンダード)  
問合せ先 財務経理部 部長 石井 伸幸  
(TEL. 03-3436-1860)

### 営業外収益ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第4四半期累計期間（2022年1月1日～2022年12月31日）において、営業外収益ならびに特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益（為替差益、受取協力金および持分法による投資利益）の計上

営業外収益として、為替相場の変動により、2022年12月期第4四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年12月31日）において、92百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。これは、主として当社保有の豪ドル建等の一部外貨建資産に対する為替相場が前期末に対し円安に推移したことにより発生したものであります。

また、オーストラリアにおける分譲住宅用土地を販売する持分法適用会社の投資利益として117百万円を計上することといたしました。

このほか、新型コロナウイルス感染症に係る協力金等223百万円を受取協力金として計上いたしました。

#### 2. 特別損失（事業撤退損）の計上

2022年4月11日付「当社ホテルの運営終了及びそれに伴う特別損失の発生について」開示いたしました。特別損失としてアゴーラ金沢の運営終了に伴う事業撤退損107百万円を計上いたしました。これは主としてアゴーラ金沢の開業に際して計上した繰延資産を償却したこと、また建物の造作および家具・什器・備品等について処分したことにより生じた諸経費等を計上したものであります。また、2022年12月28日付「固定資産の譲渡に伴う特別利益のお知らせ」において当社の固定資産である今井荘の売却に伴う諸費用を20百万円計上したことにより、事業撤退損127百万円を計上いたしました。なお、売却に伴う特別利益については、2023年第1四半期に計上する見込みですが、金額については精査中のため分かり次第お知らせします。

#### 3. 業績に与える影響

上記の営業外収益ならびに特別損失につきましては、本日公表の「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上